

## 校 章



### 「鴻の鳥とつつじの花をデザイン」

その昔、この鴻の巣の地に乱舞したと伝えられる純白の鴻の鳥が、母校を背負い、天高く飛び立つ雄姿を表し、純潔と躍進を象徴している。「高」の上には町花のつつじの花を配し、情熱と調和と町民挙げての期待とが込められている。

## 校 歌

福田清人 作詞  
廣瀬量平 作曲

*= 96~108*

*mf*

(1)そみこ  
(2)みんこ  
(3)ちなこ

らんくうはなぞうるみだ  
かのけ やにき まもり なりは みるる 一ーぐゆあ りるさ  
にがう きさの よきす きのに かあは わがし なたあ がのお れさぐー たかよ りいい いやわ ねきか

のもき ほのひ はのの たうた わつび わわじ にかは みがる のやあ るくさ やみみ まどを ありさ いのた のにえ しさかえ かえを

なゆみ ろくが さまき とちて はまた さない みびしを こうこう ことうむねに はまた さない みびしを ことむ こううね ううね われどん

らうり がよを ほろき ここわ うび (2)みこ (3)みこ めん

二、南の日輪燃ゆる 長崎の県の境  
やきものの器輝く 緑野に栄え行く町  
学びの塔に つどう喜び

一、空はるか山脈めぐり 地に清き川流れたり  
稲の穂はたわわに実る 山峡の静かなる里  
波佐見高校 我等が母校

三、虚空藏岳 霧晴るる朝  
鴻の巣に星仰ぐ宵  
若き日の旅路春秋  
身をきたえ知恵を磨きて  
大志を胸に  
真理を究めん